

外国語センター教官近況報告 (1996)

周 飛帆

「20世紀中国の民族理論に見る国家建設の理念」『言語文化論叢』第2号、1996.3.
「言語教育における自他文化の客体化」第3回日本語教育国際シンポジウム、於中国華中理工大学、1996年8月。

山岡 捷利

「袋の内側をめぐる」『言語文化論叢』第2号。
書評「ルソーの政治思想」『読書人』96年5月

泉 利明

「形・音・言葉」『言語文化論叢』第2号、1996年3月。

御子柴道夫

「牛丸神父により正教を感じた日のこと」『曙光—長司祭牛丸康夫遺稿集—』収録。
「ロシア思想史 第一章根茎—11世紀から16世紀まで—」『言語文化論叢』第2号。
書評「藤沼貴『ロシア—その歴史と文化—』」『ユーラシア研究』1996年10月号。
弘文堂『歴史学事典』第4巻に「革命と宗教」「インテリゲンツィア」の項、執筆。

村田 年

「日本語の『きれい』に相当する英語の9つの形容詞と名詞とのコロケーションについての出現頻度調査」『言語文化論叢』第2号。1996年3月。
「続・辞書に見る話し手と聞き手の関係」大学英語教育学会英語辞書研究会例会。(「辞書に見る話し手と聞き手の関係」(1994)の続編)。大学英語教育学会本部事務所英教会議室。
「英語学習辞典編集の最近の傾向—コーパス・データベースの活用—」大学英語教育学会北海道支部1996年度大会における講演として。北海道大学言語文化部。1996年7月27日。
「英語辞書編集の問題点概観」大学英語教育学会英語辞書研究会。シンポジウム「英語辞書編集と今日的課題(1)」の司会者として。旺文社北館大会議室。1996年12月14日。

大山 中勝

「コミュニケーション・アプローチの課題」『国際教育研究所紀要』第4号、1996年12月。

久保田正人

「文構造の標準型と異型—主語の機能分化をさぐる—」『言語文化論叢』第2号、31-63。

「英語の時制をめぐる」『言語文化論叢』第2号、65-83。

「医療言語療法士に必要な言語学の知識を考える」『言語文化論叢』第2号、一一七～一二九。

「『失語症』というストラテジー」日本英語学会第14回大会（11月16日、於関西学院大学）、ワークショップ発表。

田端 敏幸

「外来語に関する音韻制約について」『音韻研究—理論と実践』音韻論研究会編、開拓社、1996年11月刊。

“A Constraint-Based Analysis of Japanese /y/ and /w/,” Kobe Phonology Forum 1996, Kobe University, September 2-4, 1996.

高橋 秀夫

竹蓋順子、土肥充、高橋秀夫、「語彙指導用CAIシステムのコースウェア開発とその試用効果」、Language Laboratory、第33号、1996、pp. 97-110.

椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(1)——全体構想とコースウェア開発計画」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 147-166.

高橋秀夫、椎名紀久子、土肥充、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(2)——ソフトウェアの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 167-191.

土肥充、高橋秀夫、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(3)——CAT (Computer-Assisted Testing) システムの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 193-207.

高橋秀夫、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(1)——教育目標の設定と教材開発計画」、『LL通信』、第189号、1996、pp. 6-9.

高橋秀夫、土肥充、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(3)——ソフトウェアの開発」、『LL通信』、第191号、1996、pp. 2-5.

土肥充、椎名紀久子、高橋秀夫、「千葉大学におけるCALLシステムの開発とその指導効果」、語学ラボラトリー学会第36回全国研究大会、於拓殖大学、1996. 7.

西垣知佳子、椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、「映画を使った聞き取り指導の効果——3ラウンド制の学習理論を活用した実証的研究」、日本英語教育学会第22回全国大会、於東北学院大学、1996. 8.

椎名紀久子

椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(1)ー全体構想とコースウェア開発計画」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 147-166.

高橋秀夫、椎名紀久子、土肥充、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(2)ーソフトウェアの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 167-191.

土肥充、高橋秀夫、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(3)ーCAT (Computer-Assisted Testing) システムの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 193-207.

椎名紀久子、「大学における英語授業の改善ーひとつの試み」、『千葉大学教育実践研究』、第3号、千葉大学教育学部附属教育実践研究指導センター、1996、pp. 97-105.

高橋秀夫、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(1)ー教育目標の設定と教材開発計画」、『LL通信』、第189号、1996、pp. 6-9.

椎名紀久子、西垣知佳子、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(2)ー3ラウンド制の教材を利用したCALL用コースウェアの開発」、『LL通信』、第190号、1996、pp. 2-5.

土肥充、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(4)ーCALLシステムの運営」、『LL通信』、第192号、1996.

Takefuta, Yukio, Katsuko Takefuta, Kikuko Shiina, and Junko Takefuta, "Effectiveness of Clues Prepared for Comprehensible Input in Teaching Listening," *Discourse Communities, Annual Conference of American Association for Applied Linguistics, Chicago, Illinois, 1996-3*, p. 74.

土肥充、椎名紀久子、高橋秀夫、「千葉大学におけるCALLシステムの開発とその指導効果」、語学ラボラトリー学会第36回全国研究大会、於拓殖大学、1996. 7.

西垣知佳子、椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、「映画を使った聞き取り指導の効果ー3ラウンド制の学習理論を活用した実証的研究」、日本英語教育学会第22回全国大会、於東北学院大学、1996. 8.

土肥 充

竹蓋順子、土肥充、高橋秀夫、「語彙指導用CAIシステムのコースウェア開発とその試用効果」、*Language Laboratory*、第33号、1996、pp. 97-110.

椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(1)ー全体構想とコースウェア開発計画」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp.

(118)

147-166.

高橋秀夫、椎名紀久子、土肥充、中條清美、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(2)——ソフトウェアの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 167-191.

土肥充、高橋秀夫、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(3)——CAT (Computer-Assisted Testing) システムの開発とその試用」、『言語文化論叢』、第2号、1996、pp. 193-207.

高橋秀夫、土肥充、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(3)——ソフトウェアの開発」、『LL通信』、第191号、1996、pp. 2-5.

土肥充、椎名紀久子、「コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(4)——CALLシステムの運営」、『LL通信』、第192号、1996.

土肥充、椎名紀久子、高橋秀夫、「千葉大学におけるCALLシステムの開発とその指導効果」、語学ラボラトリー学会第36回全国研究大会、於拓殖大学、1996. 7.

西垣知佳子、椎名紀久子、土肥充、高橋秀夫、「映画を使った聞き取り指導の効果——3ラウンド制の学習理論を活用した実証的研究」、日本英語教育学会第22回全国大会、於東北学院大学、1996. 8.

金子 亨

著書

- 1 Typologischer Kontrast des Deutschen und des Japanischen. Neuauflage 1996 von Deutsch und Japanisch im Kontrast Band III (1984, Groos Verlag Heidelberg) Edition Eurasia. 1996 September
- 2 Eurasian Linguistics. Textbook for J-PAC Winter Semester 1996

論文

- 1 北東ユーラシア少数民族の言語と未来 —その現状と政策—
『スラブ・ユーラシアの変動』北海道大学スラブ研究センター 1996.7
- 2 少数者のための言語学
フンボルト財団日本シンポジウム(京都)『人文諸科学の意義について』1996年3月 電子出版 <http://www.kclc.jp/humboldt>

雑論

- 1 今昔の言語学『言語』(大修館)1996年5月号
- 2 ことばを比較するための10冊『言語』(大修館)1996年10月号
- 3 ユーラシアのグリフォン『青淵』渋沢記念財団竜門会1996年11月(560号)